

旧大原小学校に 活気と笑顔を 大原スクールマーケット開催

7月26日と8月23日、旧大原小学校で「大原スクールマーケット」が開催されました。校舎内外に飲食や雑貨などのブースが並び、大原地区で作られたお米や野菜等も販売されました。大原地区公民館の石原健二館長は「想像していたより多くの方に来場していただけて嬉しい。今後も、年2回ぐらいのペースで行っていければ」と語りました。



今回のイベントは、大原地区公民館内の「大原 Future Lab」が主催。開催に先立ち、地域住民が旧大原小学校を清掃しました。



今回の作業は、大隅半島ノウフクコンソーシアムから依頼されたもの。

やりがいを感じながら 地域の担い手に 神川新町サロン『ハタラク』取組

サロンの皆さんがやりがいを感じながら、人口減少・少子高齢化が進む本町の地域の担い手になっていただくことを目指す『ハタラク』取組として、神川新町サロンで防災食の袋詰め作業を行いました。参加者は役割を分担し、流れ作業で216食分を袋詰め。賃金は1袋55円で、サロン代表の多田裕子さんは「報酬をいただくと、やりがいがある。みんないきいきしていた」と話しました。

参加した田代小4年の榎元遥香^{はるか}さんは「地震に備えて、家具を固定しなければならぬことを学んだ」と感想を述べました。



町社会福祉協議会が主催 地域で防災学ぶ 赤十字と炊き出しを体験

8月4日、日本赤十字社鹿児島県支部から講師を招き、防災について学ぶ炊き出し体験が行われました。日赤奉仕団として登録する民生委員や地域住民25人と小学生10人が参加。参加者は、炊き出しを体験したほか、赤十字の取り組みや避難所での生活の様子、防災についての講話を聞き、災害への備えや地域で支え合うことの大切さについて学びました。

雨にも負けない大熱狂！大雨の中でもステージ前には多くの観客が集まり、音楽に合わせて体を揺らしながら、思い思いに祭りを楽しみました。



雨にも負けない熱気 錦江レゲエ浜祭り 開催

8月8日、錦江レゲエ浜祭りが神川海岸で開催されました。あいにくの天候となりましたが、会場には多くのお客さんが訪れ、熱気あふれるステージに大きな歓声が沸き起こりました。雨にも負けない盛り上がりを見せ、会場は終始、大熱狂。訪れた皆さんは、音楽とともに夏のひとときを存分に楽しみました。

園児たちがハサミ入れ 花瀬観光農園 開園式

8月1日、ぶどうの収穫時期を迎えた花瀬観光農園で開園式が行われました。田代幼稚園・田代こども園の園児によるハサミ入れの他、錦江町未来づくり専門員 OG の伊藤愛さんによるフルートのミニコンサートも開催。花瀬観光農園の濱田隆介さんは「今年の巨峰やピオーネは大粒で良い出来」と笑顔で語りました。



田代地区には2つの観光農園があります。
浜田農園 ☎ 0994-25-2759、しばたて観光 ☎ 0994-25-3077

小学校低学年は、身体を動かすゲームや歌などを楽しみながら、天気や色、気分を表す英語を学びました。



英語で楽しく交流！ イングリッシュ・デイキャンプ

イングリッシュ・デイキャンプが開催され、町内在住の小学生26名が参加しました。講師を務めたのは、県内で英語を教えているALTや、本町の国際交流員。参加者たちはゲームや体験活動を通して英語に触れ、交流を深めました。参加した田代小1年篠崎結乃^{ゆの}さんは「ジェスチャーゲームでお天気を英語で答えるのが楽しかった」と話しました。



参加者たちは、断熱材を入れた場所と入れていない場所の温度をサーモグラフィーカメラで確認し、断熱の効果を体感しました。

今年も大人気 ICT ワークショップ AI を使ってシールやカード作り

7月28日、29日にICTワークショップが行われ、小中学生35名が参加しました。今回は、AI(人工知能)で画像を生成し、ぷっくりシールやバトルカードを作成。参加者たちは思いのオリジナルキャラクターを作り、楽しみました。シール作りに参加した田代小1年の猪鹿倉杏珂さんは「色を決めるところが難しかったけれど楽しかった」と語りました。



ワークショップの最後には、自分たちで作ったシールを交換したり、バトルカードで遊んだりして、参加者同士の交流を深めていました。

中高生ボランティアも活躍 ようこそ お話の世界へ

8月22日、町文化センターでお話会が開催され、小学生や保護者約40名が参加しました。谷口ゆり子さん、壺崎智美さん、川合友紀子さんによるお話や読み聞かせのほか、パネルシアターや謎解き迷路ゲームなど、参加者たちは物語の世界を楽しみました。今回は、中高生ボランティア3名が運営に携わり、会の進行や子どもたちのサポートなどを行いました。



参加した神川小3年の原口笑愛さんは「お話が楽しかった。迷路はドキドキした」と笑顔で話しました。

国道沿いの花壇を整備している花いっぱいボランティア会。現在、会員は約70名。春と冬に花を植え、水かけや除草を行っています。



花壇整備で地域彩る 知事表彰 塩屋花いっぱいボランティア会

塩屋花いっぱいボランティア会が、道路沿いの環境美化活動への功績が認められ、知事表彰を受賞しました。同会はこれまで、国道沿いの花壇の整備をはじめ、道路清掃や美化活動を継続して実施。長年にわたる地域の環境美化への取り組みが評価され、今回の受賞となりました。谷口悦郎会長は「大変嬉しい。今後も通行する方々の心を癒せれば」と語りました。

本イベントは、未来づくり専門員 OG の伊藤愛さんが代表を務める（一社）あわいが主催。



大隅に広がるアートの輪 めぐるおおすみアート weeks 開催

8月から9月にかけて、錦江町を中心に大隅各地でアートと出会う「めぐるおおすみアート weeks」が開催されています。書家による絵葉書ワークショップや、神川海岸での中国影絵の上映などが行われました。絵葉書ワークショップに参加した鹿児島市在住小学1年の向井陽咲さんは「絵を描くのが好き。楽しく描けた」と話しました。

地域のつながりが見える化 神川上自治会で支え合いマップ作り

神川上サロンで「支え合いマップ作り」が行われました。支え合いマップとは、地域のつながりが見える地図で、緊急時や災害時、高齢者等の見守りに活用されます。神川上自治会の自治会長や班長などが、空き家や危険箇所等の情報を集め、マップを作成。サロン参加者たちは、誰と誰が連絡を取れるか、声を掛け合えるかなど「人のつながり」に関する情報を地図に追記していきました。



自治会で「支え合いマップ作り」に取り組みたい、話だけでも聞いてみたい場合は、町社会福祉協議会(☎22-2000)にご連絡ください。

純短大として最後の連携事業 耕作放棄地の茶葉を化粧水に

本町と包括的連携協定を結んでいる鹿児島純心女子短期大学の学生9名が本町を訪れ、耕作放棄地となっている茶畑で茶葉を摘み取りました。摘み取った茶葉は、化粧水の原料として活用されます。学生たちは、ラベルやパッケージのデザインも手がけ、商品化を進めています。完成した商品は、来年1月に鹿児島市で開催されるマルシェで販売される予定です。



生活学科2年の田丸ひかりさんは「これからラベルを作成する。皆さんに手に取っていただける商品になれば」と話しました。

講師でアニメーターの斎藤さんは「人と違うところがあなたの強みで魅力。そこをどんどん伸ばして」と参加者たちに話しました。



今年で5回目 大人気「アニメ体験教室」 プロのアニメーターから技を学ぶ

今年で5回目となるアニメ体験教室が開催され、小学生から高校生15名が参加しました。アニメーターの斎藤拓也さんやアニメ制作会社の方々に教わりながら、プロが使用するタブレットでアニメーションを作成。参加者たちは、キャラクターに動きをつけるなど、アニメーション制作の楽しさや魅力を体験しました。

本プロジェクトは、2027年中の完成を目指し、2028年のアヌシー国際アニメーション映画祭への出品を予定しています。



撮影した映像を AI でアニメに 次世代アニメ制作プロジェクト始動

錦江町で AI (人工知能) を活用して短編アニメを制作するプロジェクトがいよいよ始動しました。監督や技術者が講師を務め、撮影した映像をもとに AI でアニメを制作するワークショップを開催。参加した高校1年の馬庭優陽さんは「AI 技術の進歩を実際に体験でき、本物の映像作品の撮影現場にいるような雰囲気も味わえて、貴重な体験になった」と話しました。